

## －情報セキュリティ基本方針－

正興グループは IDC を基盤に、お客さまの貴重な情報資産をお預かりし、お客様の重要な業務システムの開発・構築から保守・運用にいたるまで、多様なトータルソリューション事業を展開しております。

これら事業で正興グループが取り扱うお客さま及び正興グループの情報資産は、お客様は当然として、正興グループの経営基盤としても極めて重要な資産であると位置付けております。

その一方で、情報資産は、漏洩、改竄、破壊、紛失、不正使用などの様々な脅威にさらされており、情報資産を保有することに伴うリスクも増大しています。

正興グループは、これらのリスクから情報資産を保護することの重要性を認識し、役員、従業員や協力会社など正興グループが取り扱う情報資産に関するすべての者を対象とした情報セキュリティ基本方針を定め、情報資産に要求される機密性・完全性・可用性を維持する活動を実践する為に本趣旨を理解し、正興グループの「ISMS マネジメントシステム」の内容を熟知・遵守します。

- (1) 正興グループの事業展開において、情報資産の収集、利用および提供を適切に行うために、「情報セキュリティマニュアル」他、情報セキュリティ関連規程類を定め、これを必ず遵守します。
- (2) 情報資産への不正アクセス、情報資産の漏洩、改竄、破壊、紛失などの予防並びに是正に適切な措置を講じます。
- (3) 情報セキュリティに関する法令およびその他の規範を遵守します。
- (4) 従業員に対して、情報セキュリティの重要性を認識させて、情報資産の適正な利用を行うように周知徹底を図ります。また、セキュリティ違反を行った者に対しては、規定に基づき懲戒処分を行います。
- (5) 情報セキュリティ関連規程類の遵守状況を点検・評価し、定期的に監査を実施して、情報セキュリティの継続的改善に努めます。